

■ 第4回 新潟駅交通結節機能強化検討委員会

日時：令和元年12月20日（金）10：00～

会場：新潟市役所本館6階 講堂

（司 会）

ただいまから、第4回新潟駅交通結節機能強化検討委員会を開会したいと思います。

私は、本日の進行役を務めます新潟市新潟駅周辺整備事務所の桑原と申します。よろしくお願いいたします。

はじめに、本日の委員の皆様の出席状況でございますが、お手元の出席者名簿に代えさせていただきます。

なお、委員の皆様におかれましては、意見交換の際の発言の冒頭には所属とお名前をおっしゃっていただくよう、よろしくお願いいたします。

続きまして、本日の配付資料の確認でございます。まず、A4の白黒で次第と本日の出席者名簿、座席表が1枚ずつ、A4の左上ホチキス留め資料1、右肩に資料2と書いてありますA3の1枚の資料になります。最後に、資料番号は振ってございませんが、新潟市スマートシティ協議会という会員募集のご案内という資料を本日配付してございます。不足等ございませんか。

早速ですが、次第2の議事に入りたいと思います。議事につきましては、佐野委員長から進行をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

（佐野委員長）

皆様、おはようございます。議事次第にしたがって進めていきたいと思います。

まず、（1）（2）は併せて事務局よりご説明をお願いいたします。

（事務局）

新潟駅周辺整備事務所の鈴木申します。私から議事（1）新潟駅周辺の「新たな整備の方向性」（案）について、ご説明いたします。

資料1をご覧ください。こちらの資料につきましては、上段、下段でそれぞれページを記載しております。こちらの「新たな整備の方向性」につきましては、これまでの3回の委員会でお示ししました資料を取りまとめた形になっていまして、今回、ポイントとなる部分をご説明させていただきたいと思います。

表紙の下段の目次にありますように、全体の構成としましては、1の「策定の背景」から始まりまして、2「新潟駅周辺の現状と課題」を整理して、3「検討方針及び新たな整備の

方向性」として取りまとめまして、4「今後の進め方」につながるような構成となっております。

次のページの下段の4ページになりますが、「策定の背景」ということで、新潟周辺整備が進捗する中、駅周辺の地区が担う広域的な役割が大きくなっていることから、新潟駅の拠点性向上を目指すため、広域交通との連携強化ですとか都心部の移動円滑化に向けた課題への対応方針を検討しまして、「新たな整備の方向性」を策定することとしたというまでを記載してございます。

続きまして、5ページ・6ページになりますが、上位計画となる「にいがた都市交通戦略プラン」について、新潟市全体の計画における位置づけですとか、交通戦略プランの五つの基本方針を示しております。五つの基本方針の中には、「都市の活力と拠点性を強化する交通戦略」ですとか、「まちなかのにぎわいを創出する交通戦略」というものが掲げられております。

次に、9ページが新潟都心における次世代のまちづくりの理念となる「新潟都心の都市デザイン」を示しております。

次に、10ページになりますが、「新潟駅駅前広場整備の方向性」ということで、新潟駅万代広場につきましては、まちと駅とのつながり・広がり・一体感を創出することですとか、南口広場は、広域交流の玄関口として役割が期待されている旨を記載しております。

11ページに上位計画ですとか関連計画などを踏まえまして、「新たな整備の方向性」として広域的な交通結節機能の強化策といった公共交通を中心とした駅周辺まちづくりに関する新たな整備の方向性の必要性ということで記載してございます。

12ページ以降は、新潟駅周辺の現状と課題となります。

13ページ・14ページになりますが、現在の進捗中の事業ということで、新潟駅周辺整備事業と万代島ルート線の概要となっております。

15ページからは、「広域交通との連携強化に向けた現状と課題」ということで、新潟県の広域交通網ですとか、広域交通の利用者数の推移、また交流人口の拡大に関する内容を載せていまして、あとは駅周辺のバス交通に関する内容を記載してございます。

飛ばしまして、24ページからになるのですが、「都心部の移動円滑化に向けた現状と課題」ということで、まちなかの歩行者数の推移ですとか、駅周辺におけるバリアフリーや交通混雑の状況に関する内容となっております。

そして30ページが、新潟駅周辺の現状と課題としてまとめているところです。

31ページからは、検討方針及び「新たな整備の方向性」ということで記載しておりまして、32ページにつきましては、新潟駅周辺の現状と課題というところと、検討方針及び整

備の方向性をまとめた形になっております。

この中で、検討の方針では、交通ターミナル機能の充実ですとか、各交通手段の結節強化ですとか、道路空間の再構築・利活用といったところを検討の方針と定めまして、検討の方針を踏まえた形で、新たな整備の方向性ということで広域交流ゲートウェイの創出を目指すために、中長距離バスターミナルの整備による広域交通結節機能の強化ですとか、防災機能を有する空間整備。また、駅周辺の交通円滑化ですとか、駅周辺のにぎわい空間の整備及び一体性向上ということで定めております。

次のページになりますが、今ほどの「新たな整備の方向性」をイメージであらわしたものになっておりまして、こちらと同じものが資料2に添付してございます。内容としましては、前回の振り返りでお示したものと変わりませんが、こういった形で取りまとめているという状況になっております。

33 ページになるのですけれども、この中では国と市との連携のもと、広域交流を担う幹線道路の整備と連携した新たなバスターミナルの整備により、駅とまちが一体となり人が集まりやすい機能・空間をもった「広域交流ゲートウェイ」の誕生ということで記載してございます。

34 ページからは「今後の進め方」ということで、35 ページになりますが、今後につきましては、今回の新たな整備の方向性を踏まえまして、さらに検討を進めていき、より具体的な内容となる整備計画の策定に向けて検討を進め、その後、実施に向けた取組みを進めていきたいと考えております。

36 ページに、「今後の検討事項」といたしまして、バスターミナルの整備にあたりましては、整備規模ですとか整備手法、民間との連携のほか、防災機能を有する空間の確保、またバスターミナルの整備と連動した形で各交通手段の結節強化策ですとか、新潟市にふさわしいM a a Sのあり方、また駅周辺の幹線道路や万代島ルート線の整備と連携した既存道路のあり方、人が集まりやすいにぎわい空間の確保などということで、今後の検討事項ということで記載してございます。

37 ページ以降は、参考資料ということで添付しておりまして、これまでの委員会の資料ですとか、バスタ新宿の事例、それから委員会の経緯というものを検討していただきます。

以上、簡単ではございますが、議事（1）新潟駅周辺の「新たな整備の方向性」（案）として取りまとめたものについて説明を終わります。

（事務局）

新潟駅周辺整備事務所の伊藤でございます。私からは議事（2）「今後の進め方」について説明させていただきます。

資料1の36ページをお開きください。資料2と併せてご覧ください。本日の委員会でいただきましたご意見を踏まえまして、「新たな整備の方向性」(案)について必要な修正等を行いまして、委員の皆様にはメール等でご確認していただいたのちにホームページなどで公表していきたいと考えています。

今後は新たな整備の方向性にもありますように、新潟駅周辺整備事業を引き続き進めていきますとともに、国土交通省様からは万代島ルート線などの整備を引き続き推進していただきますようお願いしたいと考えております。

今後でございますが、整備計画策定に向けた検討を行いたいと考えておりますが、検討の深度化にあたりまして、関係者の皆様に引き続きご協力をお願いしたいと考えております。

なお、本検討委員会でございますが、本日をもちまして一区切りということにさせていただきたいと考えております。解散ということではなくて、また必要に応じてお集まりいただくことになるかと思いますが、今後も新潟市のまちづくりに関しまして、皆様からのご意見をいただく機会があろうと思っておりますので、その際は大変恐縮でございますが、よろしくお願ひしたいと考えております。委員の皆様から今回、4回目まで含めまして、お忙しいところお集まりいただきまして、貴重なご意見をいただきまして、誠にありがとうございます。以上で(2)「今後の進め方」について説明を終わらせていただきます。

(佐野委員長)

ありがとうございます。ただいまご説明がありました内容につきまして、ご質問がございましたらお願いいたします。和田委員、お願いします。

(和田委員)

新潟交通の和田でございます。まず確認ですけれども、この資料1、新潟駅周辺の「新たな整備の方向性」(案)というのは公表される予定ですか。それとも、この委員会の中だけの資料という形で使われる予定ですか。

(事務局)

これは今まで出ていたものでございますので、今までも資料のほうは第2回まで公表しておりますので、また私どもの市議会のほうと協議会の中でも部分的には資料を公開しておりますので、委員会で公表するというのであれば、実際に報道のほうにも出されておりますので、今後もこれは公表という形で考えてございます。

(和田委員)

そういうことであれば、昨日、資料を拝見しながら非常に正直、悲しいというか、担当の方はこういうふうに感じられて作っているのかなというのがあったので、何点かあるのですけれども、まず資料1の「新潟駅周辺の現状と課題」のところの表現の仕方の部分ですけれ

ども、28 ページに書かれている内容は、「都心部の移動円滑化に向けた現状と課題」の中で、私どもバスを運行させていただいているわけですが、一応公共交通だろうと思って仕事をさせてもらっているのですが、③の写真の標題にあるような「一般交通を阻害するバス」というふうな表現があるというのは、これは「公共交通のバスを阻害する一般交通」という表現ではなくて、一般交通をバスが阻害しているという認識で書かれているということなのではないでしょうか。これであるとか、あとはいろいろな部分でバス交通が4割走っているのです、そのせいで混んでいるのですというような、道路が混んでいるのですという表現なのですが、バスというのは当然、人間を何人か乗せて走っているわけですから、その分、家用車の数の減少に寄与しているつもりでやっているのですが、そういうことではないというご認識でされているということであると、これから新潟市さんとバスのあり方についてやっていくという中でいうと、相当ズレが生じているというふうに感じざるを得ないのですけれども、いかがでしょうか。

(事務局)

確かに、この表現はうまくないと思いますので、この辺は今のご意見を踏まえまして修正させていただきたいと思っております。本当に一般交通を優先するというわけではないので、当然、公共交通が大事でございますので、こちらの表現を皆様からいただいたご意見という形で修正させていただきたいと思っております。

(佐野委員長)

修正をよろしく願いいたします。ほかにご質問はございますでしょうか。

ないようですので、(3)の意見交換に移りたいと思います。ここまで事務局よりご説明いただきましたが、委員の皆様から新たな整備の方向性、整備のイメージ及び今後の進め方などに関して、ご意見・ご質問がございましたらお願いいたします。

今まで出ていない資料で、今回新たに出た資料というのは、どこになりますでしょうか。

(事務局)

ほとんどないのですけれども、合体したものとか、若干の微修正を加えたものとかはございますけれども、大きな新たに出たものというのと、最後の「今後の検討事項」という 36 ページの右側の部分が大きく影響してくる部分だと思います。

(佐野委員長)

ありがとうございます。

質問事項ではありませんけれども、最後の 36 ページで、「今後の検討事項」ということで、新潟にふさわしいMa a Sのあり方ということなのですから、どんなことを検討する予定か教えていただきたいと思います。

(事務局)

私ども新潟駅周辺整備事業という形で、在来線の高架化を進めておりまして、併せまして周辺の道路整備も進めております。今後も周辺の道路整備、国交省様からもご協力いただきながら進めていきたいと思っております。

また、併せまして交通結節点という形で、今、問題になっておりますけれども、私ども高架下のバス停に行きますと、路線バスにつきましては集約されておりますが、今後まだ郊外中長距離、県内、県外の高速バスや観光バスなど、こういうものはまだ集約されておられないので、今後もこの辺もある程度、集約できるような形で進めていければと考えております。

(佐野委員長)

ありがとうございます。「新潟にふさわしい」というのは、どの辺を狙っているのか少し伺えればと思ったのですが、部署が違いまして、すみません。

何かほかにございますでしょうか。

(今井委員)

質問のような話になるかと思うのですけれども、今ほどの「今後の検討事項」のところ、中長距離バスターミナルの整備ということで、今後の検討ということで掲げてあるのですけれども、この部分について、実際、スペースの問題とかいろいろなある程度の枠とか制約の中でどうするかという話なのかなと思うのですけれども、この辺の検討のタイムスケジュールと言いますか、どれくらいの幅の中で検討をしていくのかという辺りのイメージを教えてくださいなければ有り難いと思います。

(事務局)

大変申し訳ないのですが、規模感とかスケジュール感的なものを今後、検討していくというのが実情でございまして、まだ具体的に場所とか、どういう規模とか、おおむね駅の南のほうにという方向性は出ておりますので、そういうところは変わっていかないと思いますが、規模とかスケジュール的なものは本当に今後ということになっていくと思いますので、申し訳ございません。

(佐野委員長)

ありがとうございました。ほかに何かございますでしょうか。

(田中(創)委員)

新潟国道の田中でございます。35ページの「今後の進め方」のフローがあるのですけれども、素朴な疑問なのですけれども、今回、「新たな整備の方向性」というものが出てくるのですが、これはどれなのですかというのを教えていただきたいのですが。

(事務局)

本来は、基本計画をイメージしてはいるのですけれども、そこまで至っていない状況でございまして、これに近い形で、基本計画の中に入ってくるというようなイメージでは考えているのですけれども、まだ完璧な基本計画までできたというところまで至っていないので、こういう「新たな整備の方向性」というような形で表現させていただいております。

(佐野委員長)

よろしいでしょうか。基本計画の少し前だということでした。お願いします。

(木山委員)

木山でございます。今ほどのご指摘であった「今後の検討事項」の36ページなのですが、
「新たな整備の方向性」と書いてあって、「広域交流ゲートウェイの創出～世界とつなぐ結節機能の向上」と書いてあります。その下に丸が四つあって、一番最初の丸の最初のポチのところに「高速道路やバイパスのICに近く、低未利用地の活用も可能な南口広場周辺」と書いてあるのですけれども、確かに可能は可能だと思うのですが、もう少し積極的な表現にはならないのでしょうか。「も可能な」ということではなくて、今回の連続立体交差事業に併せて、私は2回目の委員会のかにかなり発言させてもらいましたけれども、もう少し積極的にやはり「行政サイドと一緒に検討する」とか、そういう具体的な方向感に向かっての進め方というか、そういう表現に書き換えてもらえると有り難いなと思うのですが、いかがでしょうか。

(事務局)

この辺も現実的な話をすれば、もうこの低未利用地というのが具体的に出させていたいただいているのですけれども、その辺若干、適切な表現をまたこちらのほうで検討させていただいて、いい表現を皆様にご提示できるようにしたいと思います。

(佐野委員長)

ありがとうございます。

少し思ったのが、「南口広場周辺」と書くのかなというのも。当然、要素になって、当然インターから近いのだけれども、駅から遠いと、それはそれで困るな、みたいなこともあると思うので、現実的にはそこになるのかもしれませんが、ほかの選択肢も検討してもよろしいかとは思っています。

(事務局)

委員長からいただいたご意見も踏まえまして、また検討していくことになると思います。この前の委員会でいろいろいただいておりますけれども、当然、駅から傘をささずに行けるとか案内をしっかりとるか、そういうところも考えて検討していかなければならないと思っております。

(佐野委員長)

ありがとうございます。ほかに、何かございますでしょうか。

ないようですが、事務局から何かございますでしょうか。

(司 会)

本日、お配りしております資料番号はついていませんがオレンジ色の新潟市スマートシティ協議会の件につきまして、新潟市の都市計画課から情報提供がありますので、よろしく願いいたします。

(事務局)

改めまして、新潟市都市計画課の石井と申します。よろしく願いします。

お手元のオレンジ色のペーパーでございますけれども、新潟都心の都市デザイン推進プロジェクトということで見出しがありますけれども、内容といたしましては、今年5月に国のほうの重点事業化プロジェクトに、この都市デザイン周辺を含めまして、スマートシティの取組みのプロジェクトで選定されました。

その前段としましても、この都市デザインに関しましては、昨年7月に作成した都市デザインの具現化ということで、先回も同じようにお知らせさせていただきましたが社会実験を万代のガルベストーン通り、または弁天通商店街のちょうど接点のところを実施させていただくというご案内をいたしましたけれども、それも実施したりして取組みを今、始めているというところでございます。

そこで、この都市デザインのエリアを対象エリアとして居心地よく歩きたくなる賑わいのあるまちなかへコンパクトシティをめざして、さまざまなデータ利活用とか回遊性向上、または自転車、新たなモビリティなど、そういったいろいろな取組みも視野に入れて、その方向性をもっていければという思いの中で募集対象といたしまして、その実現に向けたICTなどの新技術を活用して、この取組みに賛同していただき、当該プロジェクトの実施に意欲のある事業者、団体、有識者、大学、研究機関、金融機関、行政と。この行政のイメージは市、町なども含めてなのでございますけれども、その方々に会員になっていただきたいということで、本日12月20日から年明け1月17日までの間募集いたしまして、1月末に協議会を正式発足していきたいということで、本日より募集を開始したというお知らせでございます。

(佐野委員長)

ありがとうございました。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

ほかに、何か事務局からございますでしょうか。

以上をもちまして、議事を終了いたします。進行を事務局にお返しいたします。

(司 会)

ありがとうございました。事務局からの連絡事項でございます。本日の議事録につきましては、また皆様から内容を確認いただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

本日、資料1のデータにつきましては、委員の皆様に変更データでお送りしたいと思いますので、また再度、見ていただきまして、ご意見・ご指摘等ございましたら連絡いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上をもちまして、本日の委員会を終了させていただきます。本日は、ありがとうございました。